

シリーズ秋田の先人たち

日本女子体育の母

井口阿くいのくちい

明治三（一八七二）年生
昭和六（一九三一）年没

秋田市南通亀の町生まれ



主な事蹟

女子体育研究のため留学生としてアメリカに渡り、体育理論や実技を修得して帰国し、女子体育の指導者養成に当たった。

明治三十七年文部省の体操及遊戯取調委員となり、スウェーデン体操を実践、指導し、日本の女子体育を定着させた。